

# 明けましておめでとーございませう



十和田市長 小山田 久

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、平素から本市のまちづくりに対し、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年1月に市長に就任してから、はや1年が経過しようとしております。長引く景気低迷により地方自治体の財政状況が厳しさを増している中で、本市におきましてもさまざまな課題が山積しており、その解決に向けて改めて責任の重大さを痛感しているところであります。

このような中、昨年は国内で2番目となるWHO（世界保健機関）による「セーフコミュニティ」の認証や「十和田バラ焼き」による街の活性化、また「元気づくり会議」では、本市の将来像について多くの提言がなされるなど、希望の持てる1年でありました。市民が互いに力を合わせ、

生元年と位置付け、政府の打ち出す戸別所得補償制度などの新たな政策により、経営安定に向けた取り組みを着実に実行していかなければならないと考えております。

本市で生産される農畜産物については、「奥入瀬の自然がギュッ 十和田市逸品」をキャッチフレーズに、ブランド化と販路拡大に努め、農業立市を目指してまいります。

最新の医療機器を備え昨年の6月に完成しました市立中央病院は、厳しい経営環境にあります。市民の生命と健康を守るため、関係者一丸となつて経営の健全化に取り組んでまいります。

今後も市民の皆さまと手を携え、「元気な十和田市」づくりに全力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 「元気な十和田市」づくりに 全力を尽くしてまいります

知恵を出し合いながら本市の魅力向上に取り組むことができたことを大変嬉しく思っております。

さて、今年12月には、東北新幹線が全線開業いたします。本市では、この開業を誘客促進の絶好の機会ととらえており、十和田湖・奥入瀬溪流はもとより、4月にグラウンドオープンする現代美術館を中心とした野外芸術文化ゾーンなど、あらゆる観光資源の磨き上げを図り、本市の魅力を全国に発信してまいりたいと考えております。

さらに、近隣市町村と連携し、広域的な観光振興を図りながら、滞在型観光の推進に力を入れてまいります。

また、昨年8月にWHOから認証を受けた「セーフコミュニティ」については、今年を新たなスタートと位置付け、さらに安全安心なまちづくりに向けて着実に取り組んでまいります。

市民の皆さまには、一人ひとりがこの認証に誇りを持ち、事故や犯罪の予防のために積極的に行動していただき、より一層安全安心なまちづくりが図られるようご協力をお願いいたします。

本市の基幹産業である農業では、今年を農業再